

下図・原図作成時の確認ポイント

令和3年4月版

案件番号 _____ 世道管境申第 _____ 号 申請地 _____ 申請者 _____

	チェック項目	下図の確認ポイント	☑	原図の確認ポイント	☑	
合意欄	表題欄「私所有の…」	作成見本と合っているか 新規の場合は、「…合意する。」 再標示の場合は、「…確認する。」となっているか				
	立会場所・土地地番	所有者全員分記入できる欄数となっているか		記入は自筆となっているか 地番の書き間違いがないか 住所・氏名が正しく記入されているか 委任状がある場合、「上記代理人」となっているか 成年後見人及び保佐人の場合、「上記代理人」となっているか 成年被後見人及び被保佐人の住所が記載されているか 相続人の場合、被相続人及び相続人の記入があるか(正しい内容で記入されているか)		
	土地所有者の住所・氏名・印			合意書がある場合は、「合意書により確認」と記入されているか 申請者以外の印鑑が浸透印となっていないか(印影が判読できるか) 申請者の住所・氏名が印鑑証明書と合致するか 印影が印鑑証明書と同一のものか 内容訂正があった場合、訂正方法は適正か		
	立会年月日	立会年月日が合っているか		年、月、日が正確に記入されているか		
	新規の場合、合意年月日			立会日以降で、年、月、日が正確に記入されているか		
	再標示の場合、確認年月日			立会日以降で、年、月、日が正確に記入されているか		
	作成者欄	作成者欄は正確に記入されているか		作成者の印及び登録番号が漏れていないか (会社等は代表者印になっているか)		
	測量年月日	「測量年月日」と記載されているか(「作成年月日」となっていないか) 最終立会日以降かつ埋設日以降の日付になっているか				
表題部	土地境界図 または土地境界確認図	欄の形状や文言が作成見本と合っているか 新規の場合は、「土地境界図」 再標示の場合は、「土地境界確認図」となっているか				
	土地所在地番	二つ以上の地番がある場合は、「ほか」と記入があるか				
座標欄	P点(境界点または確認点)、 S点(引照点)	P点及びS点が指示どおりの内容でできているか(既確定点の復元等は正確か) 塀角・建物角等の構造物S点を押さえているか。 (P点1点あたり2~3点が目安) マンホール、樹等がS点(引照点)になっていないか				
	備考欄	プレート、境界石等の形状及び向きが現地と合っているか				
	「測地成果 2011 座標」 または「任意座標」	測地成果 2011 の場合、座標欄の下に「世界測地系(測地成果 2011)」と記載されているか				
	地番	合意した地番はすべて記入されているか 道路に名称や区有地の地番が記入されていないか 公図と現地が違う場合、上段に公図上の地番、下段に合意の地番が()で標示されているか		合意欄の地番と合っているか		
確定図・確認図	方位	方位の向きが合っているか				
	境界辺長	区有地の外(民地側)に正しく記入されているか 境界辺長は正しい数値で「00m00」と記入されているか				
	縮尺	作成した図面の縮尺が合っているか(原則A2版で1/250) 境界辺長をスケールで当たり、寸法が合っているか		印刷した図面の縮尺が合っているか(印取り前に確認する)		
	P点(境界点または確認点)、 S点(引照点)	点の円の中に中心点がないか  境界辺長に掛かるS点は半円で表記されているか(S点が串刺しになっていないか)  P点間の線が太線になっているか P点とS点が重なる場合、S点は欠円になっているか P点とS点が重なる場合、余白に詳細図が載っているか				
	両側確定の場合	両端のP点から線を出し、点間距離の記載がされているか(点間距離にはmは不可)  丁目境の場合、両側に正しい町名が記入されているか				
	文字	縮小してA3で図面を印刷した際にも、明確に文字や数字を読み取ることが出来る大きさと印字されているか。				
	和紙作成			朱肉が浸透するような素材であるか。 (ケミカル和紙は朱肉が浸透しないため不可。)		
	凡例	凡例	P点、S点、T点の凡例の表記と図及び座標欄の表記が合っているか 新規の場合は、「境界点」「境界辺長」 再標示の場合は、「確認点」「確認辺長」となっているか 「機械点」の漢字は合っているか(「器械点」となっていないか)			

下図チェック

確認年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 実務担当者 _____
 区確認年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

原図チェック

確認年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 実務担当者 _____